

# 公 告

契約担当官  
陸上自衛隊小平学校  
会計課長 井上 英雄

以下のとおり一般競争入札を実施するので、「入札及び契約心得」及び「契約条項」を承知のうえ参加されたい。

## 1 入札事項

契約実施計画番号	調 達 要 求 番 号	物 品 番 号	仕 様 書 番 号				
4KMU10200110	4KMD1AE0003 0001		5				
品名 または 件名							
空気調和機等点検保守							
部品番号 または 規格							
仕様書のとおり							
使用器材名							
数 量	単 位	銘 柄	使 用 期 限 等	グ ル ー プ	指 定	検 査	包 装
1.00	ST						
納地または工事場所				引 渡 場 所			
小平校				管理課営繕班盛技官(内289)			
搬入場所				納 期 または 工 期			
				令和7年3月31日(月)			

## 2 競争参加資格

次のいずれかであること  
全省庁統一資格の「役務の提供等」に係る等級がA、B、C、D等級であること  
ただし、細部は注意事項による。

## 3 契約条項を示す場所

陸上自衛隊小平学校総務部会計課事務室及び陸上自衛隊小平学校

## 4 説明会及び入札執行の日時場所

説明会日時場所：  
入札日時場所：令和6年4月25日(木)10時00分 陸上自衛隊小平学校入札室(80号庁舎1階)

## 5 保証金

入札保証金：免除 契約保証金：免除

## 6 落札決定方式及び契約方式

落札決定方式：総品目総額 契約方式：一般競争

## 7 注意事項

### (1) 競争に参加する者に必要な事項

- ア 令和4・5・6年度の全省庁統一資格において、等級が「役務の提供等」の「D」以上の者であること。(資格審査結果通知書の写しを入札前までに提出して下さい。)
- イ 予算決算及び会計令第70条・第71条に該当しないものであること。(第70条において未成年者・被保佐人・被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は特別な理由がある場合に該当します。)
- ウ 大臣官房衛生監、防衛政策局長、防衛装備庁長官又は陸上幕僚長から「装備品等及び役務の調達に係る指名停止措置等の要領」に基づく指名停止の措置を受けている期間中の者でないこと。
- エ 前号により現に指名停止を受けている者と資本関係又は人的関係のある者であって、当該者と同種の物品の売買又は製造若しくは役務請負について防衛省と契約を行おうとする者でないこと。
- オ 原則、現に指名停止を受けている者の下請負については認めない。ただし、真にやむを得ない事由を該当する省指名停止権者が認めた場合には、この限りでない。

### (2) 入札条項を示す場所

陸上自衛隊小平学校総務部会計課事務室

### (3) 入札条件

- ア 違 約 金：落札者が契約締結に応じない場合は、落札金額の100分の5以上、契約者が契約を履行しない場合は、契約金額の100分の10以上を違約金として徴収する。
- イ 遅延賠償金：遅延1日につき契約金額の1000分の1以上を徴収する。
- ウ 落札決定方法：総額(税抜き)とし、入札金額が予定価格以内の最低入札者を落札者とする。また、最低入札価格が予定価格に達しない場合は、再度入札を実施する。

なお、落札者となるべき最低入札者が2人以上ある場合は、くじ引きにより落札者を決定する。  
くじを引く者がいない場合は、入札に関係のない職員によりくじ引きを実施する。

- エ 契約書等 : 落札者は落札決定後遅滞なく、陸上自衛隊駐屯地用標準契約書の様式により契約書を作成する。但し、会計法第29条の8の但書に該当する場合、作成を省略できるものとする。
- オ 契約書書式 : 駐屯地標準契約役務請負契約条項を適応する。また、特約条項は、談合等の不正行為に関する特約条項及び暴力団排除に関する特約条項に付す。

(4) 入札の無効

- ア 入札参加資格のない者の入札
- イ 入札金額、入札者氏名が識別し難い場合
- ウ 電報、電話、FAXによる入札
- エ 郵便入札の場合、期限までに到着しなかった入札
- オ その他入札に関する条件に違反した入札
- カ 入札者が実施した「暴力団排除に関する誓約事項」について虚偽があった場合又は誓約に反する事態が生じた場合

(5) その他

- ア 郵便等による入札は、資格審査結果通知書を添えて入札前日の17:00担当者必着分までを有効とする。
- イ 郵便等による入札があり、再度入札となった場合の再度入札の日時については別示する。
- ウ 本公告掲載先：陸上自衛隊小平学校総務部会計課掲示板および陸上自衛隊小平学校・小平駐屯地HP
- エ 入札及び契約事項に関する問合せ先  
連絡先 〒187-0044 東京都小平市喜平町2-3-1  
陸上自衛隊小平学校 総務部会計課 契約班 TEL 042 (322) 0661  
内線348 担当 白井 FAX 042 (321) 0664
- オ 仕様書に関する問い合わせ先  
陸上自衛隊小平学校 総務部管理課営繕班  
連絡先 TEL 042 (322) 0661 (代表) 内線289 (担当：盛)

調達要求番号：第3号  
仕様書番号：第5号  
作成年月日：令和6年3月13日  
作成部隊名：陸上自衛隊小平学校  
総務部管理課

# 空気調和機等点検保守 仕様書

名 称	空気調和機等点検保守	図面番号	
図面名称	表 紙	尺 度	

# 仕 様 書

- 1 件 名：空気調和機等点検保守
- 2 場 所：東京都小平市喜平町2-3-1 陸上自衛隊小平駐屯地
- 3 業務概要：空気調和機等の点検保守を実施する。
- 4 一般事項
  - (1) 本仕様書に記載してある事項のほか、一般財団法人建築保全センター編集・発行「建築保全業務共通仕様書（最新版）」及び監督官の指示による。
  - (2) 本仕様書及び図面に疑義が生じた場合は、監督官と協議を行いその指示に従うものとする。
  - (3) 現場の収まり等により、軽微な変更の必要性が生じた場合は、監督官と調整しその指示に従うものとする。ただし、請負金額、納期等の変更は行わないものとする。
  - (4) 役務実施に関して、隊員及び部外者に傷害等を与えた場合、または施設等に汚損を与えた場合は、請負者の責任において復旧及び保障するものとする。
  - (5) 使用材料は仮設材を除きすべて新品とし、監督官の検査を受け合格したものを使用する。
  - (6) 請負者は、現場代理人等を指定し、関係法令に基づき現場の管理を行い防災に努めること。
  - (7) 作業現場及び許可された場所以外への無断立ち入り等は厳禁とする。
  - (8) 役務写真は、各作業の作業前・作業中・作業後、使用材料及び施工後隠蔽になる箇所その他、監督官の指示する箇所を撮影し、整理の上1部提出するものとする。
  - (9) 本役務に必要な申請及び提出書類は監督官の示す規格様式で作成し提出するものとする。
  - (10) 撤去品が発生した場合、金属類発生材は、関係書類提出後監督官が指示する場所に搬入するものとし、その他は全ての廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき適正に処理するものとする。また、処理の結果は産業廃棄物管理票（A、B<sub>2</sub>、D、E）の写しを提出するものとする。
  - (11) 役務完了後は、作業現場の後片付け及び清掃を行うものとする。

名 称	空気調和機等点検保守	図面番号	1/29
図面名称	仕 様 書	尺 度	

5 特記事項

(1) 点検保守対象機器一覧

建物 番号	規格・型式等	メーカー	空調能力	数量 (台)		
2	パッケージ形空気調和機 ACP-1 RXYJ364KD1 RXYJ364KD2 ACP-2 RXYJ448KD1 RXYJ448KD2 氷蓄熱ユニット (ACP-2) TSSJ560KG ACP-3 RXYJ280KC RNYJ280KC ACP-4 RXYJ364KD1 RXYJ364KD2 ACP-5 RSXYJ140KC ACP-6 RSXYJ140KC ACP-7 RSXYJ112KC	ダイキン	冷房能力44.8KW (ACP-2、氷蓄熱ユニット)	1 (1)		
	冷房能力36.4KW (ACP-1、4)		2			
	冷房能力28.0KW (ACP-3)		1			
	冷房能力14.0KW (ACP-5、6)		2			
	冷房能力11.2KW (ACP-7)		1			
	室内機 FXFYJ140KD FXFYJ112KD FXFYJ80KD FXFYJ71KD FXFYJ56KD FXFYJ45KD FXFYJ28KD FXYCJ22KC			冷房能力2.1KW~ 12.8KW	51	
	39		ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機 SGP-H560S1GD SGP-H450S1GD SGP-H355M3GD	三洋電機	冷房能力56.0KW	9
			冷房能力45.0KW		5	
			冷房能力35.5KW		1	
			冷房能力2.8KW~ 16.0KW		110	
48	チリングユニット UWJ600AR	ダイキン	冷却能力53.0KW	1		
	冷却塔 (開放型) SBC-20ES	荏原シロ	冷却能力83.72KW	1		
50	小型吸収式冷温水機ユニット T40S2	タクマ	冷凍能力126KW	1		
	冷却塔 (開放型) SBW-40ES	荏原シロ	冷却能力234KW	1		
	エアハンドリングユニット DHU-100S	暖冷工業	冷却能力48.5KW 加熱能力39.7KW	1		

名 称	空気調和機等点検保守	図面番号	2/29
図面名称	仕 様 書	尺 度	

建物 番号	規格・型式等	メーカー	空調能力	数量 (台)
56	パッケージ形空気調和機 SRY40JA	ダイキン	冷房能力35.2KW	1
57	チリングユニット RCU20W1B RCU30W1B	日立	冷却能力46,000kcal/h	1
	冷却能力64,000kcal/h		1	
	冷却塔(開放型) MT-5014LK		冷却能力68KW	1
64	ユニット形空気調和機 RAC-284DX2	ダイキン	冷暖房兼用天井埋込形	1
	吸収式冷凍機 T100-S2	タクマ	冷却能力348.8KW	2
66	冷却塔(開放型) SKB-100PGR	空研	冷却能力642.6KW	1
	吸収式冷凍機 CH-V100ST	ヤザキ	冷却能力288KW	2
	冷却塔(開放型) SKB-85GR	空研	冷却能力529.5KW	1
	エアハンドリングユニット (冷温水コイル) DH-32	東芝	冷却能力246.55KW	1
	エアハンドリングユニット (蒸気コイル) DH-80		加熱能力294.20KW	1
	ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機 TGNJ224A1N	アイシン	冷房能力16.0KW	2
	室内機 TKTJ80M3 TKTJ90M3		冷房能力8.0、9.0KW	4
ヒートポンプ式パッケージ型空気調和機 RAS-AP224SH3	日立	冷房能力22.4KW	1	
室内機 RCI-GP56K3		冷房能力5.6KW	4	

名 称	空気調和機等点検保守	図面番号	3/29
図面名称	仕 様 書	尺 度	

建物 番号	規格・型式等	メーカー	空調能力	数量 (台)
66	ヒートポンプ式パッケージ型空気調和機 RQYP224FB	ダイキン	冷却能力22.4KW	1
	室内機 FXYCP56EA FXYCP22EA		冷房能力5.6KW、3.6KW	5
	ヒートポンプ式パッケージ型空気調和機 RQYP224FC		冷房能力22.4KW	1
	室内機 FXYFP56NB FXYCP22EB	ダイキン	冷房能力5.6KW、2.2KW	5
75	パッケージ形空気調和機 ACP-1 RQYP280FC		冷房能力28.0KW	1
	室内機 FXYFP56NB FXYCP45EB FXYCP36EB FXYCP28EB FXYCP22EB	ダイキン	冷房能力2.2KW～ 5.6KW	9
80	直だき吸収冷温水機 CH-MG180	ヤザキ	冷凍能力62.6KW	1
	冷却塔(開放型) SDW-U175ASD	エバラ	冷却能力1,160KW	1
	エアハンドリングユニット DHU-60FM-K	暖冷工業	(冷)18.5KW (暖)8.1KW	1
	エアハンドリングユニット DH-70CA		(冷)33.4KW (暖)18.1KW	1
	エアハンドリングユニット DH-100CA		(冷)35.5KW (暖)9.0KW	1
	エアハンドリングユニット DH-100CA		(冷)30.1KW (暖)10.2KW	1
	エアハンドリングユニット DH-130CA		(冷)40.6KW (暖)25.0KW	1
	エアハンドリングユニット DH-160CA		(冷)65.2KW (暖)25.8KW	1
	エアハンドリングユニット DH-160CA		(冷)54.7KW (暖)20.4KW	1
	エアハンドリングユニット DH-160CA		(冷)48.7KW (暖)20.8KW	1
	エアハンドリングユニット DHU-180FM-K		(冷)146.6KW (暖)96.1KW	1

名 称	空気調和機等点検保守	図面番号	4/29
図面名称	仕 様 書	尺 度	

エ 点検結果に応じ実施する保守の範囲は、次のとおりとする。

- (ア) 汚れ、詰まり、付着等がある部品又は点検部の清掃
- (イ) 取付け不良、作動不良、ずれ等がある場合の調整
- (ウ) ボルト、ねじ等で緩みがある場合の増締め
- (エ) 次に示す消耗部品の交換又は補充
  - ・ 潤滑油、グリス、充填油等
  - ・ ランプ類、ヒューズ類
  - ・ パッキン、ガスケット、Oリング類
  - ・ 精製水
- (オ) 接触部分、回転部分等への注油
- (カ) 軽微な損傷がある部分の補修
- (キ) 塗装（タッチペイント）
- (ク) たるみ等のあるVベルト（支給品）の交換

(3) 業務内容

ア 点検周期

区 分	点検内容(点検周期)	実施予定時期
チリングユニット	シーズンイン点検：年1回 シーズンオフ点検：年1回	5月中旬 10月中旬
吸収式冷凍機	シーズンイン点検：年1回 シーズンオン点検：運転期間中に年1回 (64号のみ) シーズンオフ点検：年1回	5月中旬 運転期間中 10月中旬
小型吸収冷温水機ユニット	シーズンイン点検：年2回 シーズンオン点検：運転期間中に年1回	5月中旬 10月中旬 運転期間中
パッケージ形空気調和機	シーズンイン点検：年2回(2号、66号、 75号) シーズンイン点検：年1回(56号のみ) シーズンオフ点検：年1回(56号のみ)	5月中旬 10月中旬
ガスエンジンヒートポンプ式 空気調和機	シーズンイン点検：年2回(66号のみ年1回)	5月中旬 10月中旬
氷蓄熱ユニット	シーズンイン点検：年1回 シーズンオフ点検：年1回	5月中旬 10月中旬
直だき吸収冷温水機	シーズンイン点検：年2回 シーズンオフ点検：年2回	5月中旬 10月中旬
冷却塔(開放型)	シーズンイン点検：年1回 シーズンオフ点検：年1回	5月中旬 10月中旬
ユニット形空気調和機 (エアハンドリングユニット)	シーズンイン点検：年2回	5月中旬 10月中旬

名 称	空気調和機等点検保守	図面番号	5/29
図面名称	仕 様 書	尺 度	



- イ チリングユニットの点検保守要領は、別表 1 による。
- ウ 吸収式冷凍機の点検保守要領は、別表 2 による。
- エ 小型吸収式冷温水機ユニットの点検保守要領は、別表 3 による。
- オ パッケージ形空気調和機の点検保守要領は、別表 4 による。
- カ ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機の点検保守要領は、別表 5 による。
- キ 氷蓄熱ユニットの点検保守要領は、別表 6 による。
- ク 直だき吸収冷温水機の点検保守要領は、別表 7 による。
- ケ 冷却塔の点検保守要領は、別表 8 による。
- コ ユニット形空気調和機（エアハンドリングユニット）の点検保守要領は、別表 9 による。
- サ 案内図・配置図は別図による。
- シ 点検終了後、点検報告書を 2 部提出する。
- ス 緊急故障時には必要な措置を実施すると共に、原因を速やかに究明し、軽易な部品等の交換で修理が見込まれる場合は請負業者の責において修理を実施する。
- セ 5 月中旬のシーズンイン点検（冷房）は、5 月 31 日までに点検を完了させること。
- ソ 10 月中旬のシーズンイン点検（暖房）は、10 月 31 日までに点検を完了させること。

名 称	空気調和機等点検保守	図面番号	6/29
図面名称	仕 様 書	尺 度	

## チリングユニット (1/2)

## シーズンイン・オフ点検項目

点検項目	点検及び保守内容	備考
1 基礎・固定部	① 亀裂、沈下等の有無を点検する。 ② 固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みの有無を点検する。 ③ 防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無を点検する。	イ・オ イ・オ イ・オ
2 外観の状況		
(1) 本体	腐食、変形、破損等の有無を点検する。	イ・オ
(2) 保冷材	損傷及び脱落の有無を点検する。	イ・オ
3 内部の状況		
熱交換器	フィンコイルの汚れ、損傷等の有無を点検する。	イ・オ
4 付属品		
(1) 温度計・圧力計	① 正常値を指示していることを点検する。 ② 取付け部等の漏れの有無を点検する。 ③ 汚れ及び損傷の有無を点検する。	イ・オ イ・オ イ・オ
(2) 安全弁	漏れの有無及び作動の良否を点検する。	イ
5 電気系統		
(1) 操作回路・動力回路	絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	イ・オ
(2) 端子	緩み、変色及び破損の有無を点検する。	イ・オ
(3) クランクケースヒータ	① 温度の異常の有無を点検する。 ② 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	イ・オ イ・オ
(4) 操作盤	盤内の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を点検する。	イ・オ
(5) 電磁開閉器	異常音及び劣化の有無を点検する。	イ・オ
(6) 接地	① 断線及び緩みの有無を点検する。 ② 接地抵抗を測定し、その良否を確認する。	イ イ
6 保安装置		
(1) 圧力開閉器	設定値で作動することを確認する。	イ
(2) 吐出ガス温度サーモスタット	作動の良否を点検する。	イ
(3) 断水リレー	作動の良否を点検する。	イ

名 称	空気調和機等点検保守	図面番号	7/29
図面名称	仕 様 書	尺 度	

## チリングユニット (2/2)

## シーズンイン・オフ点検項目

点検項目	点検及び保守内容	備考
(4) インターロック	作動の良否を点検する。	イ
(5) 冷水凍結防止サーモスタット	作動の良否を点検する。	イ
(6) 可溶栓	変形、損傷等の有無を点検する。	イ
7 冷媒系統	① ガス漏れの有無を点検する。 ② 配管の損傷、接触、磨耗、腐食等の有無を点検する。	イ・ウ
8 潤滑油系統	油の汚れの有無及び油量の適否を点検する。	イ・ウ
9 冷水及び冷却水系統	① 漏れの有無を点検する。 ② 弁の開閉の良否を点検する。	イ
10 排水系統	通水試験を行い、流れに支障のないことを確認する。	イ・ウ
11 運転調整		イ
(1) 音・振動	異常のないことを確認する。	
(2) 電源電圧・電流	① 運転時における主電源電圧の変動が、規定値内にあることを確認する。 ② 主電流、圧縮機電流及び送風機電流が、規定値以下にあることを確認する。	イ
(3) 冷媒ガス	高圧側及び低圧側の圧力、温度等の冷媒ガスの状態を把握するために必要な計測を行い、その値が許容範囲内にあることを確認する。	イ
(4) 冷凍機油	油圧、温度等を計測し、その値が許容範囲内にあることを確認する。	イ
(5) 熱交換状況	冷媒、冷却水及び冷水の温度等を点検し、熱交換状況が正常であることを確認する。	イ
(6) 自動制御	温度、圧力、容量及びタイマー制御が設定値で作動することを確認する。	イ
12 保存	水系統(排水系統を除く)は、確実に水を抜いたうえ保存する。	ウ

名 称	空気調和機等点検保守	図面番号	8/29
図面名称	仕 様 書	尺 度	

## 吸収式冷凍機（1 / 3）

## シーズンイン・オン（64号のみ）・オフ点検項目

点検項目	点検及び保守内容	備考
1 基礎・固定部	① 亀裂、沈下等の有無を点検する。 ② 固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みの有無を点検する。 ③ 取付け状態を点検する。	イ・オ イ・オ オ
2 外観の状況		
(1) 本体	腐食、変形、破損等の有無を点検する。	イ・オ・オ
(2) 保温材・保冷材	損傷及び脱落の有無を点検する。	イ・オ
3 付属品		
温度計・圧力計	① 正常値を指示していることを確認する。 ② 取付け部等の漏れの有無を点検する。 ③ 汚れ及び損傷の有無を点検する。	イ・オ・オ イ・オ・オ イ・オ・オ
4 気密確認	機内圧力が規定値以内であることを確認する。	イ
5 電気系統		
(1) 操作回路・電動機回路（密閉ポンプ・抽気ポンプ）	絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 （30V 未満の回路は除く）	イ・オ
(2) 端子	緩み、変色及び破損の有無を点検する。	イ・オ
(3) タイマー	起動制限、遅延、その他のタイマーが設定値で作動することを確認する。	イ
(4) サーマルリレー	キャンドポンプ及び抽気ポンプ用サーマルリレーの設定値を確認する。	イ
(5) 電極棒	① 電極棒の機能を点検する。 ② 必要に応じて電極棒を抜取り、亀裂または折損の有無を点検する。	イ・オ オ
(6) 操作盤	盤内の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を点検する。	イ
(7) 接地	① 断線及び緩みの有無を点検する。 ② 接地抵抗を測定し、その良否を確認する。	イ イ
6 保安装置		
(1) 作動試験	リレー及び保護装置が規定値で作動することを確認する。	イ
(2) インターロック	作動の良否を点検する。	イ

名 称	空気調和機等点検保守	図面番号	9/29
図面名称	仕 様 書	尺 度	

## 吸収冷凍機（2 / 3）

## シーズンイン・オン（64号のみ）・オフ点検項目

点検項目	点検及び保守内容	備考
7 蒸気圧力調整弁	① リンク装置の緩みの有無を点検する。 ② 実作動及び擬似回路により作動させ、その良否を点検する。	イ・ホ イ・ホ
8 冷水及び冷却水系統	① 弁の開閉の良否を点検する。 ② 冷水及び冷却水系統の各水室部に水漏れのないことを確認する。	イ イ
9 運転調整		
(1) 音・振動	異常のないことを確認する。	イ・ホ
(2) 電流・電圧	① 運転時における主電源電圧の変動が、規定値内にあることを確認する。 ② 運転電流が規定値以下にあることを確認する。	イ・ホ イ・ホ
(3) 電動機	電動機の回転方向が正しいことを確認する。	イ
(4) 自動制御	蒸気調整弁が設定温度で段階的に作動することを確認する	イ・ホ
(5) 熱源	① 供給蒸気の1次圧力が規定の許容範囲内にあることを確認する。 ② 非通電時に、蒸気制御弁にリークのないことを確認する。	イ・ホ イ・ホ
(6) 熱交換器	① 冷水及び冷却水の入口温度及び出口温度、溶液温度、溶液濃度、凝縮温度、蒸発温度等を測定し、その値が許容範囲内にあることを確認する。 ② 不凝縮ガスの混入及び冷却管の汚れの有無を点検する。	イ・ホ イ・ホ
10 真空气密		
(1) 抽気ポンプ	① 起動時に固着及び異常音がなく、抽気能力に異常のないことを確認する。 ② ベルトの張りの良否及び油面の適否を点検する。	イ・ホ・カ イ・ホ・カ
(2) 抽気系統	抽気用弁を手動で全開にし、真空計の変化から開通していることを確認する。	イ・ホ・カ
(3) パラジウムセルユニット	パラジウムセル部の焼損及び劣化の有無を点検する。	イ・ホ・カ
(4) リーク試験	抽気ポンプで機内に不凝縮ガスのないことを確認する。	イ・ホ・カ
(5) 真空引き	抽気ポンプを用いて機内を所定の圧力まで抽気する。	イ

名 称	空気調和機等点検保守	図面番号	10/29
図面名称	仕 様 書	尺 度	

## 吸収式冷凍機（3 / 3）

## シーズンイン・オン（64号のみ）・オフ点検項目

点検項目	点検及び保守内容	備考
11 冷媒・吸収剤	① 攪拌した溶液を適量採取し、腐食防止剤濃度及びアルカリ度が規定の許容範囲内にあることを確認する。	イン・ホ
12 熱交換器	② 溶液に汚れのないことを確認する。	イン・ホ
13 機器用水質	① 伝熱管のスケール付着の有無を点検する。	ホ
14 保存	② 伝熱管の腐食の有無を点検する。	ホ
(1) 真空系統	③ 水室の汚れ及び腐食の有無を点検する。 ストレーナー、ダートトラップ等の水回路の水洗いを行う。	イン
(2) 冷水及び冷却水系統	機内真空部を所定の圧力まで下げ窒素ガスを封入して大気圧力以上に加圧し、保存する。	ホ
(3) 溶液希釈	満水または乾燥のうえ保存する。満水保存の場合は、さび止め剤を規定の濃度まで注入する。	ホ
	冷媒液は全て溶液に混入させ、希釈されていることを確認する。	ホ

名 称	空気調和機等点検保守	図面番号	11/29
図面名称	仕 様 書	尺 度	

## 小型吸収式冷温水機ユニット (1 / 3)

## シーズンイン・オン点検項目

点検項目	点検及び保守内容	備考
1 基礎・固定部	① 亀裂・沈下等の有無を点検する。 ② 固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。 ③ 取付け状態を点検する。	イ イ ロ
2 外観状況	腐食、変形、破損等の有無を点検する。	イ・ロ
3 内部の状況		
(1) 燃焼室	燃焼室内の汚れを点検する。	イ
(2) 熱交換器	スケール付着の有無を点検する。	イ
4 付属品 附属弁	弁の開閉の良否を点検する。	イ・ロ
5 動力盤	① 冷房又は暖房の切換えが正しいことを確認する。 ② 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ③ 作動の良否を点検する。	イ イ・ロ イ
6 機内盤・遠隔操作 盤	作動の良否を点検する	イ・ロ
7 電気系統		
(1) 操作回路・ヒーター回路・電動機回路 (キャンドポンプ、バーナーモーター)	絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 (30V 未満の回路は除く)	イ
(2) 端子	緩み、変色及び損傷の有無を点検する。	イ・ロ
(3) サーマルリレー	キャンドポンプ及びバーナーモーター用サーマルリレーの設定値を確認する。	イ
(4) 温度調節器	所定の設定値で作動することを確認する。	イ・ロ
(5) 操作盤	盤内の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を点検する。	
(6) 接地	① 断線及び緩みの有無を点検する。 ② 接地抵抗を測定し、その良否を確認する。	イ イ
8 保安装置		
(1) 作動試験	リレー及び保護装置が規定値で作動することを確認する。	イ
(2) インターロック	作動の良否を点検する。	イ

名 称	空気調和機等点検保守	図面番号	12/29
図面名称	仕 様 書	尺 度	

## 小型吸収式冷温水機ユニット (2 / 3)

## シーズンイン・オン点検項目

点検項目	点検及び保守内容	備考
9 燃焼装置		
(1) 燃焼系統配管・弁	① 油燃料の場合は、油配管継手部並びにバーナー停止時のノズルチップからの油の滴下量を確認する。 ② 弁の開閉の良否を確認する。	イ・ホ イ
(2) 燃焼監視制御装置		
(3) バーナー	① 油燃料の場合は、炎口部を清掃する。 ② 油燃料の場合は、ノズル、燃焼筒等の焼損及び変形の有無を点検する。 ③ 直接点火のバーナーは、点火トランス、電極棒及び高圧リード線の損傷等、絶縁碍子の亀裂の有無並びに絶縁の良否を確認する。	イ イ イ・ホ
(4) 火炎検知器	① 光電セル又は紫外線検出方式は、受光面の汚れ、亀裂等の有無並びに絶縁の良否を確認する。 ② フレームロッドの整流方式は、汚れ、絶縁碍子の亀裂の有無並びに絶縁の良否を確認する。	イ・ホ イ・ホ
(5) ストレーナー	詰まり、損傷等の有無を点検する。	イ・ホ
(6) 地震感知器	小型吸収冷温水機ユニット運転時に作動テストを行い、自動的に燃焼が停止することを確認する。	イ
10 冷温水及び冷却水系統	① 出口及び入口の圧力損失が規定値内にあることを確認する。 ② 各水室部に水漏れのないことを確認する。 ③ 暖房時前の場合は、冷却水系の水抜きを確認する。	イ イ イ
11 運転調整		
(1) 音・振動	異常のないことを確認する。	イ・ホ
(2) 電流・電圧	① 運転時における主電源電圧の変動が規定値内にあることを確認する。 ② 運転電流が規定値以下であることを確認する。	イ イ・ホ
(3) 温度制御	設定温度で作動することを確認する。	イ・ホ

名 称	空気調和機等点検保守	図面番号	13/29
図面名称	仕 様 書	尺 度	



## 小型吸収式冷温水機ユニット (3 / 3)

## シーズンイン・オン点検項目

点検項目	点検及び保守内容	備考
(4) 燃焼状態	① 正常に着火することを確認する。 ② フレーム電流を測定し、その良否を確認する。 ③ 排ガス中の酸素濃度及び一酸化炭素濃度、排ガス温度、ドラフト、燃料圧力、燃料消費量等を測定し、その値が規定の許容範囲内にあることを確認する。なお、油だきは、スモークスケールの有無を確認する。	イ・ホ イ・ホ イ・ホ
(5) 電動機	回転方向が正しいことを確認する。	イ
(6) 熱交換器	① 冷水及び冷却水の入口温度及び出口温度、溶液温度、溶液濃度、凝縮温度、蒸発温度等を測定し、その値が許容範囲内にあることを確認する。	イ・ホ
12 真空気密	② 不凝縮ガスの混入及び冷却管の汚れの有無を点検する。 ① 抽気ポンプで機内の不凝縮ガスを採取し、規定値以下にあることを確認する。	イ・ホ イ・ホ
13 冷媒・吸収剤	② パラジウムセル部の焼損及び劣化の有無を点検する。 ① 攪拌した溶液を適量採取し、腐食防止剤濃度及びアルカリ濃度が規定の許容範囲内にあることを確認する。 ② 溶液に汚れのないことを確認する。	イ・ホ ホ イ

名 称	空気調和機等点検保守	図面番号	14/29
図面名称	仕 様 書	尺 度	

## パッケージ形空気調和機（1 / 2）

## シーズンイン・オフ点検項目

点検項目	点検及び保守内容	備考
1 基礎・固定部	① 亀裂、沈下等の異常の有無を点検する。 ② 固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。 ③ 防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無を点検する。	イ・オ イ・オ イ・オ
2 外観の状況	腐食、変形、破損等の有無を点検する。（室外機含む）	イ・オ
3 冷房切替え	補助電気ヒーター及び加湿器の電源遮断、自動制御機器の切替え並びに作動確認を行う。	イ
4 暖房切替え	補助電気ヒーター及び加湿器の電源投入、自動制御機器の切換え並びに作動確認を行う。	イ
5 水系統		
(1) 加湿用給水	① 弁の開閉を確認する。 ② 漏れ及び汚れのないことを確認する。	イ イ
(2) ドレンパン	汚れ、さび、腐食等の有無を点検する。	イ・オ
(3) ドレン排水	本体のドレン排水確認を行い、支障のないことを確認する。	イ
6 電気系統		
(1) 操作回路・動力回路	絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	イ
(2) 端子	緩み及び変色の有無を点検する。	イ
(3) 操作盤	盤内の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を確認する。	イ
(4) クラックヒーター	通電、発熱状態に異常のないことを点検する。（空調機含む）	イ・オ
7 送風機		
(1) Vベルト	緩み、亀裂、磨耗等の有無を点検する。	イ・オ
(2) 軸受	異常音、異常振動等の有無を点検する。	イ・オ
(3) 羽根車	汚れ、損傷等の有無を点検する。	イ・オ
(4) 電動機	回転方向が正しいこと確認する。	イ
8 エアフィルター		
(1) ろ材	詰まり、損傷等の有無を点検する。	イ・オ
(2) 枠	変形、腐食等の有無を点検する。	イ・オ
9 冷媒系統	① ガス漏れの有無を点検する。（室外機含む） ② 配管の損傷等の有無を点検する。	イ・オ イ・オ

名 称	空気調和機等点検保守	図面番号	15/29
図面名称	仕 様 書	尺 度	

## パッケージ形空気調和機（2 / 2）

## シーズンイン・オフ点検項目

点検項目	点検及び保守内容	備考
10 熱交換器	① ファンコイル及び凝縮器の汚れ、損傷等の有無を点検する。（室外機含む）	イ・オ
	② 補助ヒーターの汚れ、損傷等の有無を点検する。	イ
11 加湿器	① 作動の良否を点検する。	イ・オ
	② 汚れ、損傷等の有無を点検する。	イ・オ
12 保安装置		
(1) インターロック	室内送風機運転と補助電源ヒーターが連動して作動することを確認する。	イ
(2) 圧力開閉器	作動の良否を確認する。	イ
(3) 可溶栓又は安全弁	ガス漏れ、変形等の有無を確認する。	イ・オ
(4) 温度ヒューズ	溶断、変形及び変色の有無を点検する。	イ
(5) 過熱防止器	作動の良否を確認する。	イ
(6) 圧力計	指示値が正常であることを確認する。	イ
13 自動制御機器	温度調節器、湿度調節器、タイマー制御、圧力制御及び容量制御が設定値で作動することを確認する。	イ
14 運転調整		
(1) 音・振動	異常のないことを確認する。	イ・オ
(2) 電源電圧	① 供給電源電圧に異常がないことを確認する。	イ
	② 運転時における電圧変動が規定値内にあることを確認する。	イ
(3) 運転電流	① 主電流及び圧縮機電流が定格以下にあることを確認する	イ
	② 送風機及び加湿器の電流に異常がないことを確認する。	イ
	③ 電源ヒーターの電流が定格値にあることを確認する。	イ
(4) 冷凍機油	汚損、劣化及び油量の適否を点検する。	イ
(5) 熱交換状況	冷媒、室外機及び室内機の吹出し空気温度を点検し、熱交換状況が正常であることを確認する。	イ
(6) 除霜装置	検地作動及び四方弁動作の良否を点検する。	イ
15 保存	冷却水・加湿系統（排水系統を除く）の水を排出し保存する。	オ

名 称	空気調和機等点検保守	図面番号	16/29
図面名称	仕 様 書	尺 度	

## ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機（1 / 2）

## 1 シーズンイン点検項目

点検項目	点検及び保守内容	備考
1 基礎・固定部	① 亀裂、沈下等の異常の有無を点検する。 ② 固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。 ③ 防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無を点検する。	イ イ イ
2 外観の状況	腐食、変形、破損等の有無を点検する。（室外機含む）	イ
3 冷房切替え	補助電気ヒーター及び加湿器の電源遮断、自動制御機器の切替え並びに作動確認を行う。	イ
4 暖房切替え	補助電気ヒーター及び加湿器の電源投入、自動制御機器の切換え並びに作動確認を行う。	イ
5 水系統		
(1) 加湿用給水	① 弁の開閉を確認する。 ② 漏れ及び汚れのないことを確認する。	イ イ
(2) ドレンパン	汚れ、さび、腐食等の有無を点検する。	イ
(3) ドレン排水	本体のドレン排水確認を行い、支障のないことを確認する。	イ
6 電気系統		
(1) 操作回路・動力回路	絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	イ
(2) 端子	緩み及び変色の有無を点検する。	イ
(3) 操作盤	盤内の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を確認する。	イ
(4) クランクケースヒータ	通電、発熱状態に異常のないことを点検する。（空調機含む）	イ
7 送風機		
(1) Vベルト	緩み、亀裂、磨耗等の有無を点検する。	イ
(2) 軸受	異常音、異常振動等の有無を点検する。	イ
(3) 羽根車	汚れ、損傷等の有無を点検する。	イ
(4) 電動機	回転方向が正しいこと確認する。	イ
8 エアフィルター		
(1) ろ材	詰まり、損傷等の有無を点検する。	イ
(2) 枠	変形、腐食等の有無を点検する。	イ
9 冷媒系統	① ガス漏れの有無を点検する。（室外機含む） ② 配管の損傷等の有無を点検する。	イ イ

名 称	空気調和機等点検保守	図面番号	17/29
図面名称	仕 様 書	尺 度	

## ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機（2 / 2）

## 1 シーズンイン点検項目

点検項目	点検及び保守内容	備考
10 熱交換器	① ファンコイル及び凝縮器の汚れ、損傷等の有無を点検する。（室外機含む）	イ
	② 補助ヒーターの汚れ、損傷等の有無を点検する。	イ
11 加湿器	① 作動の良否を点検する。	イ
	② 汚れ、損傷等の有無を点検する。	イ
12 保安装置		
(1) インターロック	室内送風機運転と補助電源ヒーターが連動して作動することを確認する。	イ
(2) 圧力開閉器	作動の良否を確認する。	イ
(3) 可溶栓又は安全弁	ガス漏れ、変形等の有無を確認する。	イ
(4) 温度ヒューズ	溶断、変形及び変色の有無を点検する。	イ
(5) 過熱防止器	作動の良否を確認する。	イ
(6) 圧力計	指示値が正常であることを確認する。	イ
13 自動制御機器	温度調節器、湿度調節器、タイマー制御、圧力制御及び容量制御が設定値で作動することを確認する。	イ
14 運転調整		
(1) 音・振動	異常のないことを確認する。	イ
(2) 電源電圧	① 供給電源電圧に異常がないことを確認する。 ② 運転時における電圧変動が規定値内にあることを確認する。	イ イ
(3) 運転電流	① 主電流及び圧縮機電流が定格以下にあることを確認する ② 送風機及び加湿器の電流に異常がないことを確認する。 ③ 電源ヒーターの電流が定格値にあることを確認する。	イ イ イ
(4) 冷凍機油	汚損、劣化及び油量の適否を点検する。	イ
(5) 熱交換状況	冷媒、室外機及び室内機の吹出し空気温度を点検し、熱交換状況が正常であることを確認する。	イ
(6) 除霜装置	検地作動及び四方弁動作の良否を点検する。	イ

名 称	空気調和機等点検保守	図面番号	18/29
図面名称	仕 様 書	尺 度	

## 氷蓄熱ユニット（1 / 1）

## シーズンイン・オフ点検項目

点検項目	点検及び保守内容	備考
1 基礎・固定部	① 亀裂、沈下等の有無を点検する。 ② 固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みの有無を点検する ③ 防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無を点検する	イ・ウ イ・ウ イ・ウ
2 タンク	水漏れ及び外面の錆、腐食、損傷等の有無を点検する。	イ・ウ
3 氷生成装置	熱交換器部分の汚れ、破損等の有無を点検する。	イ・ウ

名 称	空気調和機等点検保守	図面番号	19/29
図面名称	仕 様 書	尺 度	

## 直だし吸収冷温水機（1 / 4）

## シーズンイン・オフ点検項目

点検項目	点検及び保守内容	備考
1 基礎・固定部	① 亀裂、沈下等の有無を点検する。 ② 固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。	イ・ウ イ・ウ
2 外観の状況		
(1) 本体	腐食、変形、破損等の有無を点検する。	イ・ウ
(2) 保温材・保冷材	損傷及び脱落の有無を点検する。	イ・ウ
3 内部の状況		
(1) 燃焼室	① 焼損及び燃焼ガスのリークの有無を点検する。 ② 耐火材の亀裂、脱落等の有無を点検する。 ③ 燃焼室内部の腐食及び汚れの有無を点検する。 ④ 燃焼ガス出口部の腐食の有無を点検する。	ウ ウ ウ ウ
(2) 熱交換器	① 伝熱管のスケール付着の有無を点検する。 ② 伝熱管の腐食の有無を点検する。 ③ 水室の汚れ及び腐食の有無を点検する。	ウ ウ ウ
4 付属品		
(1) 温度計・圧力計	① 正常値を指示していることを確認する。 ② 取付け部等の漏れの有無を点検する。 ③ 汚れ及び損傷の有無を点検する。	イ・ウ イ・ウ イ・ウ
(2) 付属弁	① 弁の開閉の良否を点検する。 ② 調整弁が、冷房又は暖房運転時の調整開度であることを確認する。	イ イ
5 動力盤	① 冷房又は暖房の切換えが正しいことを確認する。 ② 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ③ 作動の良否を点検する。	イ イ イ
6 電気系統		
(1) 操作回路・ヒーター回路・電動機回路	絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 (30V 未満の回路は除く)	イ
(2) 端子	緩み、変色及び損傷の有無を点検する。	イ
(3) タイマー	起動制限、遅延、その他のタイマーが設定値で作動することを確認する。	イ

名 称	空気調和機等点検保守	図面番号	20/29
図面名称	仕 様 書	尺 度	

## 直だき吸収冷温水機（2 / 4）

## シーズンイン・オフ点検項目

点検項目	点検及び保守内容	備考
(4) サーマルリレー	キャンドポンプ、抽気ポンプ、ブロワー及び油ポンプ用サーマルリレーの設定値を確認する。	イ
(5) 電極棒	機能を点検する。	イ
(6) 操作盤	盤内の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を点検する。	イ
(7) 接地	① 断線及び緩みの有無を点検する。 ② 接地抵抗を測定し、その良否を確認する。	イ イ
7 保安装置		
(1) 作動試験	リレー及び保護装置が規定値で作動することを確認する。	イ
(2) インターロック	作動の良否を点検する。	イ
8 燃焼装置		
(1) 燃料系統配管	① 油燃料の場合は、油配管継手部からの油の滴下のないことを確認する。 ② ガス燃料の場合は、(一社)日本冷凍空調工業会規格 J R A 4 0 0 4 (ガス吸収冷温水機安全基準) に定められた方法により外部漏れを確認する。	イ・オ イ・オ
(2) 弁	① 油燃料の場合は、電磁弁非通電時に、ノズルからの油垂れがないことを確認する。 ② ガス燃料の場合は、(一社)日本冷凍空調工業会規格 J A R 4 0 0 4 (ガス吸収冷温水機安全基準) に示す方法による弁越リーク量が基準以内であることを確認する。 ③ ガス燃料の場合は、電動ボール弁、主遮断弁及びパイロット電磁弁の開閉の良否を点検する。 ④ 異常時に規定値で作動することを確認する。 ⑤ 通電時にチャタリング、過熱、異常音等の有無を確認する。	イ イ イ イ イ
(3) バーナー	① 耐火材の亀裂及び欠損の有無を点検する。 ② ヘッド部の焼損及び変形の有無を点検する。 ③ ノズルを取外し、洗油又はシンナーで清掃する。 ④ 点火トランス、電極棒及び高圧リード線の損傷等及び絶縁碍子の亀裂の有無並びに絶縁の良否を確認する。	イ・オ オ オ イ

名 称	空気調和機等点検保守	図面番号	21/29
図面名称	仕 様 書	尺 度	



## 直だし吸収冷温水機（3 / 4）

## シーズンイン・オフ点検項目

点検項目	点検及び保守内容	備考
(4) リンク機構	① 動作の良否を点検する。	イ・ウ
	② ボールジョイントの緩み及び損傷の有無を点検する。	イ・ウ
(5) 火炎検知器	① 光電セル又は紫外線検出方式は、受光面の汚れ、亀裂等の有無並びに絶縁の良否を確認する。	イ
	② フレームロッド方式は、汚れ及び絶縁碍子の亀裂の有無並びに絶縁の良否を確認する。	イ
(6) ストレーナー	詰まり、損傷等の有無を点検する。	イ
(7) 地震感知器	直だし吸収冷温水機運転時に作動テストを行い、自動的に燃焼が停止することを確認する。	イ
9 冷温水及び冷却水系統	① 出口及び入口の圧力損失が規定値内にあることを確認する。	イ
	② 各水室部に水漏れのないことを確認する。	イ
	③ 暖房時前の場合は、冷却水系の水抜き確認を行う。	イ
10 運転調整		
(1) 音・振動	異常のないことを確認する。	イ
(2) 電流・電圧	① 運転時における主電源電圧の変動が、規定値内にあることを確認する。	イ
	② 運転電流が規定値以下であることを確認する。	イ
(3) 電動機	電動機の回転方向が正しいことを確認する。	イ
(4) 温度制御	設定温度で作動することを確認する。	イ
(5) 燃焼制御	プレパージ時間、着火タイミング、失火動作指令等の作動の良否を点検する。	イ
(6) 燃焼状態	① 正常に着火することを確認する。	イ
	② メインバーナーの火炎が安定しており、異常振動及び異常音がないことを確認する。	イ
	③ フレーム電流を測定し、その良否を確認する。	イ
	④ 排ガス中の酸素濃度及び一酸化炭素濃度、排ガス温度、ドラフト、燃料圧力、燃料消費量等を測定し、その値が規定の許容範囲内にあることを確認する。なお、油だきはスモークスケールの有無を点検する。	イ

名 称	空気調和機等点検保守	図面番号	22/29
図面名称	仕 様 書	尺 度	

## 直だし吸収冷温水機（4 / 4）

## シーズンイン・オフ点検項目

点検項目	点検及び保守内容	備考
(7) 熱交換器	① 冷水及び冷却水の入口温度及び出口温度、溶液温度、溶液濃度、凝縮温度、蒸発温度等を測定し、その値が許容範囲内にあることを確認する。	イ
	② 不凝縮ガスの混入及び冷却管の汚れの有無を点検する。	イ
11 真空気密		
(1) 抽気ポンプ	① 起動時に固着及び異常音がなく、抽気能力に異常のないことを確認する。	イ・オ
	② ベルトの張りの良否及び油面の適否を点検する。	イ・オ
(2) 抽気系統	抽気用弁を手動で全開にし、真空計の変化から開通していることを確認する。	イ・オ
(3) パラジウムセルユニット	パラジウムセル部の焼損及び劣化の有無を点検する。	イ・オ
(4) リーク試験	抽気ポンプで機内に不凝縮ガスのないことを確認する。	イ・オ
12 冷媒・吸収剤	① 攪拌した溶液を適量採取して腐食防止剤濃度及びアルカリ度が規定の許容範囲内にあることを確認する。	イ
	② 溶液に汚れがないことを確認する。	イ
13 機器用水質	ストレーナー、ダートトラップ等の水回路の水洗いを行う。	イ
14 保存		
(1) 真空系統	内部真空度に降下のないことを確認のうえ保存する。	オ
(2) 冷温水及び冷却水系統	満水又は乾燥のうえ保存する。満水保存の場合にあっては、さび止め剤を規定の濃度まで注入する。	オ
(3) 溶液希釈	シーズンオフ停止に入る時は溶液が充分希釈されていることを確認する。	オ

名 称	空気調和機等点検保守	図面番号	23/29
図面名称	仕 様 書	尺 度	

## 冷却塔（1 / 3）

## シーズンイン・オフ点検項目

点検項目	点検及び保守内容	備考
1 基礎・固定部	① 亀裂、沈下等の有無を点検する。 ② 基礎ボルトの緩み及び劣化の有無を点検する。 ③ 防振装置の損傷等の有無を点検する。 ④ 防振ストッパーの緩み及び劣化の有無を点検する。	イ イ イ イ
2 外観の状況		
(1) 本体	損傷、変形及び汚れの有無を点検する。	イ・オ
(2) 散水装置	① 損傷、変形、さび及び汚れの有無を点検する。 ② 散水穴の目詰まりの有無を点検する。 ③ 散水管の回転が円滑であることを確認する。	イ・オ イ・オ イ・オ
(3) 熱交換器【密閉形に限る】	コイルの汚れ、損傷等の有無を点検する。	イ・オ
(4) エリミネータ	損傷、変形及び目詰まりの有無を点検する。	イ・オ
(5) ルーバー	損傷、変形及び目詰まりの有無を点検する。	イ・オ
(6) 充填材	① スケール等の付着の有無を点検する。 ② 目詰まりの有無を点検する。 ③ 座屈、変形等の有無を点検する。	イ・オ イ・オ イ・オ
(7) 架台	① 損傷、変形等の有無を点検する。 ② 固定金具の劣化及び組み立てボルトの緩みの有無を点検する。	イ・オ イ・オ
(8) 梯子・点検扉	損傷、変形、腐食等の有無を点検する	イ・オ
3 水槽		
(1) 本体	① 内外面の損傷、変形及び汚れの有無を点検する。 ② 水漏れの有無を点検する。 ③ 水位が規定の位置にあることを確認する。	イ・オ イ・オ イ
(2) 給水装置	ボールタップ等が確実に作動することを確認する。	イ・オ
(3) ストレーナー	目詰まり、損傷等の有無を点検する。	イ・オ
(4) フレキシブルジョイント	接続部の緩み、腐食等の有無を点検する。	イ・オ
4 送風機		
(1) 羽根車	① 損傷、腐食、汚れ等の有無を点検する	イ・オ

名 称	空気調和機等点検保守	図面番号	24/29
図面名称	仕 様 書	尺 度	

## 冷却塔（2 / 3）

## シーズンイン・オフ点検項目

点検項目	点検及び保守内容	備考
(2) ファンケーシング	② 回転に支障のないことを確認する。 損傷、腐食等の有無を点検する。	イ・オ イ・オ
(3) 軸受	① 軸が円滑に回転することを確認する。	イ・オ
(4) 電動機	② 油量の適否を点検する。	イ
(5) ベルト	① 損傷、腐食等の有無を点検する。 ② 円滑に回転することを確認する。 ③ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	イ イ・オ イ
(6) プーリー	① 張り具合の適否を点検する。 ② 損傷及び磨耗の有無を点検する。	イ・オ イ・オ
5 散水ポンプ 【密閉形に限る】		
(1) 本体	汚れ、損傷、腐食等の有無を点検する。	イ・オ
(2) 電動機	① 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ② 回転方向が正しいことを確認する。 ③ 電流が定格値内であることを確認する。	イ イ イ
6 凍結防止装置	① サーモスタットが設定値で作動することを確認する。 ② ヒーターの作動電流が定格電流以下にあることを確認する。 ③ ヒーターの絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	イ イ イ
7 運転調整	① 電動機の回転方向が正しいことを確認する。 ② 異常音及び異常振動のないことを確認する。 ③ 電源電圧の変動が規定値内にあることを確認する。 ④ 運転電流が定格値以下にあることを確認する。 ⑤ 散水管の回転数が許容範囲内にあることを確認する。 ⑥ 散水が均一に分散していることを確認する。 ⑦ 水槽の水位が運転前及び運転状態が適正であることを確認する。	イ イ イ イ イ イ イ

名 称	空気調和機等点検保守	図面番号	25/29
図面名称	仕 様 書	尺 度	

## 冷却塔 (3 / 3)

## シーズンイン・オフ点検項目

点検項目	点検及び保守内容	備考
8 シーズンオフ時の 保存	器内の水を確実に抜いたうえ保存する。	ナ
9 シーズンイン時の 清掃	本体及び配管の清掃を行う。	ン

名 称	空気調和機等点検保守	図面番号	26/29
図面名称	仕 様 書	尺 度	

## ユニット形空気調和機 (1 / 2)

## シーズンイン点検項目

点検項目	点検及び保守内容	備考
1 基礎・固定部	① 亀裂、沈下等の有無を点検する。 ② 固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。 ③ 防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無を点検する。	イン イン イン
2 外部の状況		
(1) 本体	腐食、変形、破損等の有無を点検する。	イン
(2) 保温材・吸音材	損傷及び脱落の有無を点検する。	イン
3 送風機		
(1) 羽根車	① 汚れ、さび、腐食等の有無を点検する。 ② 回転バランスの良否を点検する。	イン イン
(2) シャフト	汚れ、さび、磨耗等の有無を点検する。	イン
(3) ベルト	緩み、磨耗、損傷等の有無を点検する。	イン
(4) プーリー	磨耗等の有無を点検する。	イン
(5) 軸受	① 異常音、異常振動等の有無を点検する。 ② 給油の状態を点検する。	イン イン
(6) カップリング	磨耗、損傷等の有無を点検する。	イン
(7) 電動機	① 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ② 回転方向が正しいことを確認する。 ③ 電流が定格値内であることを確認する。	イン イン イン
4 熱交換器	冷温水コイル、蒸気コイル等の汚損、腐食、損傷等の有無を点検する。	イン
5 加湿器	① 加湿ノズルの詰まりの有無を点検し、清掃する。 ② 作動の良否を点検する。 ③ 加湿状態点検用ランプが点灯することを確認する。	イン イン イン
6 エリミネータ	詰まり、腐食等の有無を点検する。	イン
7 水系統		
(1) ドレンパン	汚れ、さび、腐食等の有無を点検し、清掃する。	イン
(2) ドレン排水	本体のドレン排水確認を行い、詰まりのないことを確認する。	イン

名 称	空気調和機等点検保守	図面番号	27/29
図面名称	仕 様 書	尺 度	

## ユニット形空気調和機 (2 / 2)

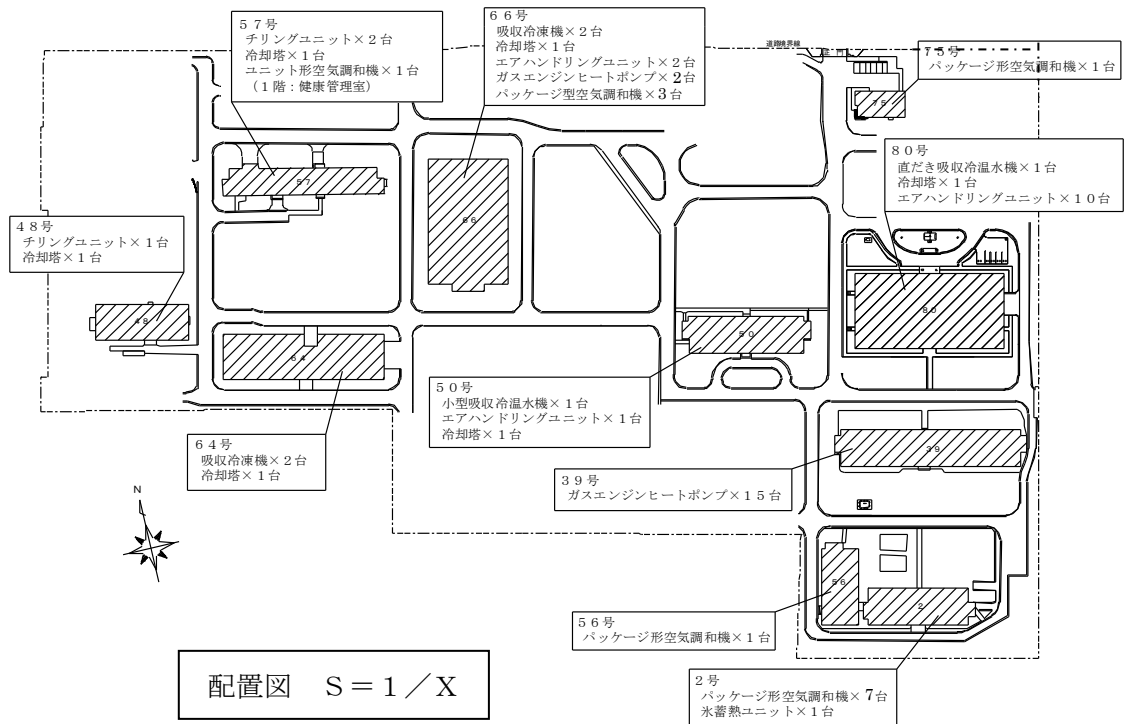
## シーズンイン点検項目

点検項目	点検及び保守内容	備考
8 エアフィルター 【プレフィルター】		
(1) ろ材	詰まり、損傷等の有無を点検する。	イ
(2) 枠	変形、腐食等の有無を点検する。	イ
9 運転調整	① 運転時における電圧変動が規定値以下であることを確認する。	イ
	② 運転電流が定格以下であることを確認する。	イ

名 称	空気調和機等点検保守	図面番号	28/29
図面名称	仕 様 書	尺 度	



案内図 S = 1 : X



配置図 S = 1 / X

名 称	空気調和機等点検保守	図面番号	29/29
図面名称	案内図・配置図	尺 度	





市価調査書

¥

品名	規格	単位	数量	単価	金額
空調機等点検保守	仕様書のとおり	ST	1		
	以下余白				

※内訳があれば添付してください。

年 月 日

契約担当官

陸上自衛隊小平学校

会計課長 井上 英雄

殿

住 所

会社名

代表者名

担当者名

連絡先